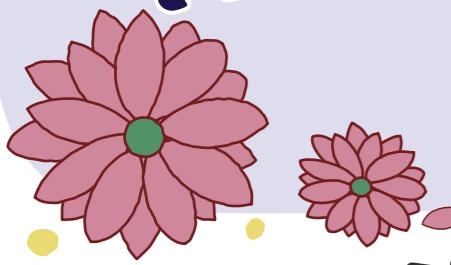


膨らみ、やわらかさ、
などをもたらしてくれる

酸化♪



日本酒にとって大切な要素でもある酸化
それによる味わいの変化を
花開くように表現されることもあり、
酸化しない状態は
ツボミのようであるとも言えます。

KPDの搾った後のお酒の管理は
酸化を始めるタイミングを选べることで
蔵元が出したい理想の味わいで
消費者に届けることを目指しています。

酸化のタイミング

たとえば
ミニ！
開栓から酸化を
スタートさせたい

タイミングを選んで活かす！
そのためには…

それまではしっかり **マモル！**

かき混ぜる、温める、など酸化を促すのは
難しいことではないとしても、
意図したタイミングで、となると、
それまでは味わいを守っておく必要があります。



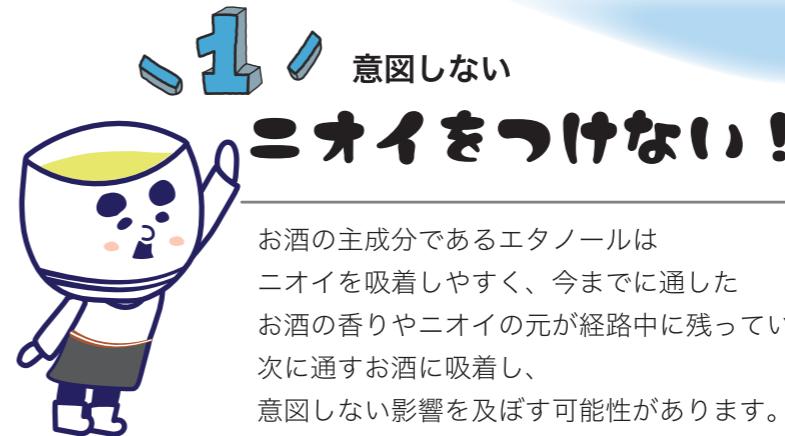
KPDが提案する
『搾った後のお酒の管理』…



とは？

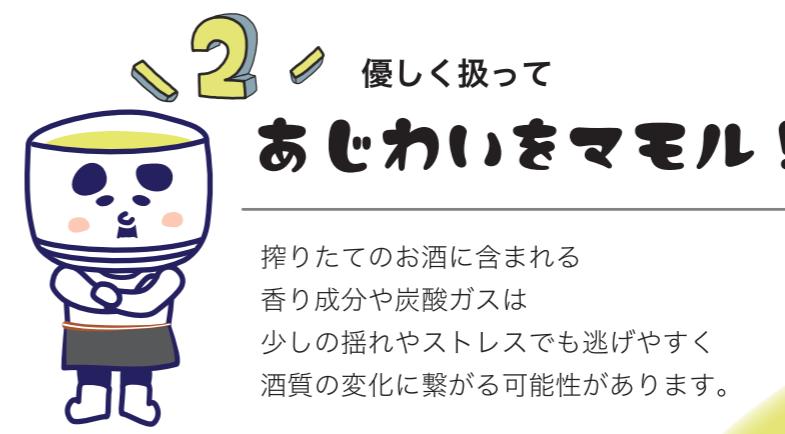
『青冽え』の色や風味をできるだけ守る
変化しやすい繊細なもろみの
味わいを守り、その後、
酸化を活かすタイミングを選んで
理想の味わいに。

そのためには…



意図しないニオイをつけない！

お酒の主成分であるエタノールは
ニオイを吸着しやすく、今までに通した
お酒の香りやニオイの元が経路中に残っていると
次に通すお酒に吸着し、
意図しない影響を及ぼす可能性があります。



優しく扱って
あじわいをマモル！

搾りたてのお酒に含まれる
香り成分や炭酸ガスは
少しの揺れやストレスでも逃げやすく
酒質の変化に繋がる可能性があります。

意図しないニオイを除き
理想の味わいを
目指します。

checkpoint
ホース
ぬの
フィルター

搾った直後から
瓶詰めまで優しく扱い
醸されたお酒の味わい
そのままを守ります。

checkpoint
ポンプ
たれつぼ
ろか

